

## 施設予定地の概要

### 1. 地形・自然条件

- (1) 当該地は、東京都心部から南東へ約 10km に位置する中央防波堤内側埋立地内にある。この埋立地の東側は、東京都内の廃棄物の最終処分場として昭和 48～61 年まで利用された。当該地は、浚渫土砂等で埋め立てられた土地であり、埋め立ては平成 8 年にしゅん功した。
- (2) 当該地の敷地面積は約 3ha で敷地形状は東西に細長く、北側は海までの距離が約 200m である。
- (3) 当該地は旧調整池として使用されていたが、平成 8 年度に埋め立てを行い、平成 9 年度には地盤改良工事が実施された。現況は、盛土による地盤の安定化と管理が実施されている。
- (4) 気候について

	状 況
気 温	平均気温:15～16 (夏季平均 25 前後、冬季 10 前後)
降水量	平均降水量 1,400～1,500mm
湿 度	年間平均値は 70%程度
風 速	平均風速 約 3m/s、風向は北風が年間を通じて卓越しているが夏季は南風

### 2. 土地利用状況 (図2参照)

- (1) 当該地は帰属区が決まっておらず、現状は市街化調整区域となっている。
- (2) 当該地の利用に当たっては、都市再生プロジェクトのスーパーエコタウン事業として本 PCB 処理施設とガス化溶融等発電施設の整備が予定されている。
- (3) 当該地の北側には都下水道局キシングプラント、南側に清掃事業関連施設、西側に PET ボトル処理施設、東側に建設発生土再利用センター等がある。
- (4) 近隣には住居及び文教施設等は立地していない。
- (5) 南側の中央防波堤外側の先には、さらに都内の廃棄物の最終処分として埋め立てが行われている。

### 3. 主なインフラ状況

- (1) 電 気: 受電容量にて、2,000kW 以上で 20kV、10,000kW 以上で60kV が受電可能で、詳細を東京電力(株)と調整が必要。
- (2) 水 道: 4号線に 250mmの埋設管があり、800～1,000 トン/日の利用可。
- (3) ガ ス: 敷設計画があり、東京ガス(株)と調整が必要。
- (4) 下 水 道: 近隣に都下水道局の有明処理場があり、250mmの接続管を通して300トン/日までの排水が許容される(図2参照)。
- (5) 雨水排水: 都下水道局管理の400～800mmの雨水管を経て、南側の海域(中央防波堤東西水路)に放流する(図2参照)。
- (6) 周辺道路: 当該地への進入は、北西に延びる青海縦貫道路から3号線、4号線を経由する1箇所のみで、東西を囲む1・2号線からは進入できない(図2参照)。また、中央防波堤内側へは、青海縦貫道路(第二航路海底トンネル)を通る江東区ルートと城南島と中央防波堤外側を結ぶ東京港臨海道路(海底トンネル)を経由する大田区ルートの2つがある(図1参照)。なお、当該地に最も近いインターチェンジは首都高速湾岸線13号地で、距離にして約3.5kmある(大井南までは約6km)。